

会派視察・研修報告書

会派名 公 明 党

代表者名 寺島 芳枝

1 日 に ち	令和 元 年 6 月 28 日 (金) 29 日 (土)
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	地域包括ケア特別講座 主催：地方議員研究会 会場：名古屋ダイヤビルディング 1 号館
3 参 加 者	渡部 昇 片山 竜美
4 調査・研修の テーマ	地域福祉政策の立案・実践に向けて～地方議員が今取り組むべき課題・ 施策 基礎編・実践編
5 主な内容	・これからの福祉政策を考える視点 ・2040 年を展望した社会保障改革の概要 ・地域共生社会の実現 ・これからの地域づくり戦略 ・政策立案の考え方とその方法 ・全国の取り組みから学ぶ
6 所感、提言事項、課 題等	【議員氏名】 渡部 昇 【学んだこと】 ＊地域福祉は地域の住民が自発的、積極的な行動で福祉活動を通して地域を活性化することが必要である。 ＊地域住民がいろいろな活動するには、その地域にあった交流の場を設けると、徐々に活動が広まっていくと思う。 ＊地方議員の役割として政策を企画立案し、政策を実行する場合は地域の資源を有効に活用し常に住民の目線で評価することが大事である。 ＊地域福祉計画の推進は、(計画・実行・評価・改善)「PDCA」をしっかりとフォローしていく事が大事である。 【課題】 ＊地域の課題は全体を見て、現場に入り真実を見る目が大事、それと時代の流れが重要であるが、議員として今後どのように取り組んで行くかしっかり行動していきたい。

6 所感、提言事項、課題等	【議員氏名】片山竜美 <学んだこと> *高齢者がいつまでも元気で活躍する社会をつくることが、社会保障費の削減につながってくる。 *高齢者に明確な役割を与え、生きがいをもって活動できる仕組みをつくることが重要である。 *地域包括ケアをするためには、行政が主導ではなく、あくまでも住民が自主的に参画していく仕組みをつくることが持続可能な取り組みとなる。 *しっかりとした「PDCA」を行うことで、限られた予算を有効に活用し、成果をあげることができる。 <課題> ●社会福祉協議会が機能を果たしているか、議員の立場でしっかりとチェックしていく必要がある。 ●10 年単位で計画を実行していく粘り強さ、根気が議員にも必要である。その覚悟をもって取り組まなければならない。
7 写 真 等 ※視察の場合は必須、研修の場合は任意	

※視察先、研修先ごとに1枚作成すること。

※「6 所感、提言事項、課題等」は、参加者全員分を記載すること。